

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回吉川市スポーツ推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和3年10月15日(金) 午前10時00分 から 正午まで
開 催 場 所	吉川市役所202・203会議室
出席委員(者)氏名	向山昌利委員、小山健一委員、岡田良訓委員、伊藤幸司委員、 上原和彦委員、伊東孝委員、星座正俊委員、岡田宏美委員、 戸張計子委員、松岡伸悟委員、加藤芙幸委員、松井希世子委員 [オブザーバー] 水原 康賀氏、大和田 勝美氏
欠席委員(者)氏名	豊田正一委員、薄田千枝子委員、西野亜希委員
担当課職員職氏名	小林健康長寿部長、酒匂スポーツ推進課長、森田スポーツ推進 課長補佐兼スポーツ推進係係長、中井スポーツ推進課主任、田 中スポーツ推進課主事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 委員長あいさつ 3 講演「学校体育の現状と取組み」 4 議事 (1) 計画全体の構成について (2) 基本理念と基本目標について (3) 基本目標に係る「課題」「施策」「取組み」について 5 その他 6 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	1名
会議資料の名称	資料1 計画全体に係る構成案 資料2 基本理念と基本目標 資料3 基本目標に係る課題・施策・取組について

	<p>資料4 施策体系</p> <p>講演資料 学校体育の現状と取組み</p> <p>参考資料1 当日出席者名簿</p> <p>参考資料2 席次表</p> <p>参考資料3 事前質問への回答</p>
会議録の作成方法	<p><input type="checkbox"/>録音機器を使用した全文記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>録音機器を使用した要点記録</p> <p><input type="checkbox"/>要点記録</p>
会議録確認指定者	<p>星座正俊委員、松井希世子委員</p>
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
1 開会	
2 委員長あいさつ	吉川市スポーツ推進計画の大枠を決める重要な会議となるので積極的なご発言をお願いしたい。
事務局	<p>事務局より報告</p> <p>コナミスポーツ株式会社の常務執行役員若島司委員については、社内の人事異動となり、後任は上原和彦常務執行役員となった。</p> <p>後任の上原委員の任期は、他の委員と同様に令和4年3月31日まで。</p> <p>事務局より今後のスケジュールについて説明</p> <p>頂いた意見を基に次回の会議までに完成に近いところまでに計画案を仕上げていく。</p> <p>12月10日に開催を予定している第4回の会議において、内容を確認していただき、意見を反映させた計画案を12月24日から1月25日までに、パブリックコメントとして市民に公表し、ご意見をいただく予定。</p> <p>2月半ばにパブリックコメントの意見を、第5回の策定委員会で示し、ご審議いただいた後、製本し3月中に市民に公表する予定。</p>
3 基調講演	<p>「学校体育の現状と取組みについて」</p> <p>吉川市教育委員会 学校教育課 学校支援担当副主幹松岡伸悟委員より講演</p> <p>【参考】学校体育の現状と取組み</p>

3 議事

委員長

本日出席委員は15名中12名。

本日の会議録の署名委員に星座委員、松井委員を指名する。

計画の大枠をつくる貴重な機会になるので、皆様のご所属の立場、市民の立場から、納得できる計画を作ることが、いい計画を策定するために欠かせないと思う。積極的なご発言をお願いしたい。

(1) 計画全体の構成について

事務局

資料1に基づき事務局より説明後、質疑応答

第1章では計画の策定にあたって国や県の動向、吉川市のスポーツビジョンを策定した背景に触れ、吉川市としてスポーツをどのように定義付けていくのか、総合振興計画等の上位計画との位置付けについて説明する。計画の背景について説明できる資料は、次回の会議に用意する。

第2章では、吉川市のスポーツにおける現状と課題を4つの分野に分けて説明する。

第3章では、第2章で触れた4つの課題解決をどう解決していくのかを体系的に説明する。

第4章は、計画の要に部分になる。今後、吉川市がどのようにスポーツ施策を取組んで行くのか、スポーツ推進ビジョン、基本理念をどのように形にしていくのか、詳しく説明する。

第5章では、第4章で形作られた取組み内容をどう管理していくのか示す。SDGSとの関連性も示す。

最後に、策定委員会の中でどう審議したのか、経過も含めた資料をまとめていきたい。

(質問無し)

(2) 基本理念と基本目標について

資料2に基づき事務局より説明後、質疑応答

事務局	<p>基本目標 1 では、障がい者や性的マイノリティの方関係なく、それぞれの世代を分けて施策、取組みを内容にする。</p> <p>基本目標 2 では、市のスポーツ施策に係る団体との連携や、市民ボランティア活動の推進を表していく。新しい取組みとしてスポーツの効果を発信してくれる人材育成をしていく内容にする。</p> <p>スポーツに取り組むことができない人や、いろんな形でスポーツを楽しみたい方たちの意向も形にする。</p> <p>基本目標 3 では、情報発信を積極的に行っていく施策の内容になる。</p> <p>基本目標 4 では、基本目標 1 から 3 の取組みの推進が、この基本目標 4 の達成につながり、基本目標 4 を達成する取組の強化が、基本目標 1 から 3 の達成を後押しする相互関係をもった構成になっている。</p> <p>(質問無し)</p> <p>(3) 基本目標に係る「課題」「施策」「取組み」について</p> <p>資料 3 と資料 4 に基づき事務局より説明後、質疑応答</p>
事務局	<p>この施策の中でこういった取り組みをイメージしていく必要があるのではないかといったご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>5、6 歳くらいまでの運動神経系のつながりの発達が 8 割育つといわれている。この時期に体を動かす体験が重要である。</p>
委員	<p>コロナ禍の影響もあり、運動会で見学できる保護者に人数が制限されていて、子ども達が頑張っている姿を見る機会が減ってしまっているため、子ども達のやる気が薄くなっている気がする。こういう状況なので、外で遊ぶだけでも大切なことだと思う。</p>
事務局	<p>休みの日の子どもたちの過ごし方について、子どもたちへの取り組みで何か良いイメージはあるか。</p>

委員	<p>幼児は自主的に動くのが難しいのが現状だと思う。ここは検討していかないといけないと感じた。小学生であれば、自分が取り組んだ内容を体力アップカードに書かせて提出してもらっている。コロナ禍においては、園児の保護者に対し家でできることを紹介することや、収まったときに公園で何ができるか紹介できればいいと思う。</p>
委員	<p>ライフキッズスポーツクラブは、未就学児と親と一緒にできるスポーツイベント。楽しみながらできるようなプログラムを組んでいる。</p>
事務局	<p>現役世代の方々にどのように、スポーツに親しんでもらっているか、現状について伺いたい。</p>
委員	<p>スポーツをすることでどういう効果が得られるか検証が必要と感じている。子どもと一緒にやるというのはいいきっかけのひとつになると思う。一回きりではなく、次へのストーリーを示していくことが重要と考えている。</p>
委員	<p>PTA 活動で高学年の子どもと親があえて手をつなぎ、触れ合うようなスポーツを一緒にやったことがある。</p> <p>自分の職場であれば、仕事終わりにジムなどに行かず、職場内で行えるヨガ教室で体を動かす機会をつくった。</p>
事務局	<p>高齢福祉の観点から長寿支援課からご意見いただきたい。</p>
委員	<p>なまらん体操は、吉川市民のため、子どもから高齢者まで市民全体に向けた健康づくりのためにつくられた体操。なまらん体操を活用して地域での健康づくり、介護予防に取り組んでいるのが、地域型介護予防教室である。</p> <p>集会所を使って実施しているところが多いが、中には公民館など、</p>

	<p>近くに集会所がないところは幼稚園を借りて土曜日の時間帯に実施したり、地域の資源を活用して展開しているところがある。スポーツをスポーツ施設ではなく地域の資源を活用しながらやっていくことは大事な視点だと思う。</p>
委員長	<p>基本目標 2、施策 1 施策内の取組み 3 について補足したい。</p> <p>多様性をもった、いろいろな方を参加できる環境にするのがこの計画の強みだと思うが、多様性を知る、集めるのは非常にむずかしい。</p> <p>ここは、市民でもやりたいけどできない方の声を集めるために掲載したものとなっている。</p>
事務局	<p>伊藤委員からご意見あるか。</p>
委員	<p>スポーツ少年団は 4 競技 1 1 団体ある。子どもたちのために、何が大切かをテーマに。指導者や保護者達に必要なものを専門の講師の方を招いて共有化するのが母集団講習会になる</p>
事務局	<p>星座委員からもご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>障がいの有無に関係なく、メンタルヘルスの部分でスポーツをやることによって満たされることが非常に大きいと感じている。</p> <p>自己肯定感が低い方は生きがい、やりがいとか、自分の生きている意味がわからないとかいう方が多い。そういう方に対しては、まず体を動かしてみる、動かすのが難しい方は、自分の好きなチームを見つけて応援してみるということをアドバイスしている。一喜一憂できるのはすごく良いこと。運動すればできるようになることも増えていくし、勝った負けたを知ることはすごく実感を得られるみんなと一緒にやれば、みんなと楽しめることもあるし、ぶつかることもあるけど、そういう機会がどこにいったらいいのかわからないという声が非常に多くあるので、知る機会が増えていけばいい。</p>

事務局	<p>吉川市におけるスポーツ施設について健康長寿部長の小林から説明をさせていただきたい。</p>
事務局	<p>吉川市では総合運動公園の整備について検討を進めていた経緯がある。市民から直接意見を聞くために、市長キャラバンを複数回開催し、意見徴収やいろいろな話をしてきた。総合運動公園は素晴らしい話ではあるけれども、お金もできるだけかけずにスピーディーにできないだろうか。という声が大変多く寄せられた。</p> <p>そこで吉川市では既存の施設もしくは、市内の様々な資源を活用し分散型でスポーツ施設の整備に取り組んできた。具体的には、グラウンドゴルフをやっている場所を少年野球で使えるように開放した。</p> <p>また、東埼玉資源環境組合が排出するスラグを埋め立てている土地の上面空間を利用してスポーツを行うような施設を整備する計画を進めている。</p> <p>また、現在市民のみなさまに屋外プールの廃止について、パブリックコメントを行っているところ。背景としては、夏場40日の開場にかかわらず、多額の経費がかかっていること。そして、利用が年々減少していること。老朽化に伴なって、継続していくには、さらに多額の経費を要することが見込まれている。継続的に運営できないかと検討をしてきた。有識者からのご意見をいただいて、検討を複数回重ねてきたが、根本的な解決になる道筋は見えないということで廃止の案を市民に問うているところ。もちろんこのパブリックコメントの結果を踏まえ、さらに、廃止の条例を議会の承認をもらう道筋は必要になるが。今のところ廃止の結論を市として打ち出して皆さんに意見をいただいているところである。</p> <p>分散型のスポーツ施設の整備や、施設の老朽化にともなう見直し等を行っているところだが、スポーツ施設の設備の整備、充実ということになると綿密な検証と様々なかたらのご意見を踏まえた計画が必要になってくる。</p>

	皆様にはその点でアイデアやご意見をいただきたい。
事務局	関係機関と連携し、横断的なスポーツ推進を図るうえで具体的な取り組みがあるか、意見を伺いたい。
委員	高齢者は人材の宝庫だと思う。小さい頃から剣道していて70歳になってもやっている人がいる。そういった方に指導してもらう機会を作り、つながっていければ面白いのではないか。自分が培ってきた経験を子どもたちに戻していければ面白いと思う。
委員	シルバー人材センターからじゃがいも掘りのお誘いを受けて、毎年じゃがいも掘りをしている。老人介護施設からお誘いをうけて、歌や、合唱やちょっとした劇を披露したことがある。コロナ化でなくなったりしているのが現状だが、できるだけ交流を図っていきたい。
事務局	スポーツの魅力を知る、発信することについてご意見を伺いたい。
委員	なまりんバスについて、スポーツ少年団の使用には制限がある。市のバスで大会に向かうのは市の宣伝になるし、子どもたちも感動している。なまりんバスの弾力的な運用を検討してみては。
委員	高校や大学で活躍した選手は市のほうで表彰され、広報にも載っているが、内々でしか知らない。例えば野球でいえば、夏の大会にでることを大会前にアピールすれば、みんなが応援できると思う。
委員長	以上で、議事3を終了とさせていただきます。
5 その他	事務局より説明
事務局	次回の会議第4回会議は12月10日金曜日午前10時から市役所301・302会議室で開催する。

<p>6 閉会 副委員長</p>	<p>毎回2時間で終わるのはもったいないと思う内容である。今までスポーツに関する課題や今後を話す機会がなかった。特に今回は学校の現状について、皆さんに聞いてもらえたこともよかった。</p> <p>是非、今日の資料を持ち帰り、目を通していただいたうえで、次回の会議で意見を述べてもらいたいと思う。明日から実行できる内容もあるので、皆さんとともにスポーツ推進のために実行していきたいと感じた。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年11月10日</p> <p>署名委員 星座 正俊 署名委員 松井 希世子</p>	